

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	白石区市民部地域振興課(861-2422)
-----	-----------------	-----------	-----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市白石東地区センター	所在地	札幌市白石区本通16丁目南4-27
開設時期	平成8年5月10日	延床面積	1,219.88㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	図書室、ホール、集会室、実習室、和室等		
2 指定管理者			
名称	札幌市白石東地区センター運営委員会		
指定期間	平成30年4月1日～平成35年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 令和2年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>当地区センターは、地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、地域住民の福祉増進に寄与することを目的として設置したものであり、経費の節減を図りながら、サービスの向上、利用率の向上、地域住民による施設運営への積極的参加を目指している。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>地域住民の誰でも気軽にかつ安心して利用できる地区センターづくりを推進している。地区センターの存在・活動を広く周知するため毎月発行の地区センターだよりやホームページの活用など、広報活動を充実させ、地域住民に平等に利用を促進をしている。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼ 光熱水費については、引き続き照明器具の間引きや、暖房器具の効率的な使用などの節約に努めるとともに、利用者にも協力を求めた。 また、令和2年度に行った改修工事により、照明が全室LED化され、工事終了後である12月以降の電気使用量は、コロナ禍による利用減等もあり単純な比較はできないが、大きく減少している。</p> <p>▼ 事務局や各事業で使用する用品等は、グリーン購入ガイドライン指定品を購入・使用している。また、印刷物は両面印刷を基本とし、使用済み用紙の裏面利用など、環境に配慮した事務処理に努めている。</p> <p>▼ 排出されるゴミは適切に分別処理している。また、新聞や段ボールについては、古紙扱いとし古紙回収事業に貢献している。</p>	<p>当地区センターの管理業務等に関する基本方針等に従い運営しており、統括管理業務に係る各項目は着実に実施している。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。従前から行っているサポーター事業は、利用者が施設運営に参加する機会を作り出し、より地域に密着した施設づくりを行うために欠かせない事業となっており、継続して実施されていることは評価できる。今後も適正な運営に努めつつ、コミュニティ活動の活性化につながる取組みの継続に期待している。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。従前から行っているサポーター事業は、利用者が施設運営に参加する機会を作り出し、より地域に密着した施設づくりを行うために欠かせない事業となっており、継続して実施されていることは評価できる。今後も適正な運営に努めつつ、コミュニティ活動の活性化につながる取組みの継続に期待している。			
A	B	C	D								
協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。従前から行っているサポーター事業は、利用者が施設運営に参加する機会を作り出し、より地域に密着した施設づくりを行うために欠かせない事業となっており、継続して実施されていることは評価できる。今後も適正な運営に努めつつ、コミュニティ活動の活性化につながる取組みの継続に期待している。											

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

責任者としての事務局長のほか、事務職員2名、図書職員3名、パート3名を配置している。事務局職員1名の交替があったが、担当職務を十分に理解し業務を遂行している。また、コロナ禍でもあり、配信動画を活用した研修も受講させ、職員の資質向上を図っている。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

朝礼や業務連絡日誌等を通じて職員間の情報共有化を図り、利用者の視点に立った円滑な管理運営の工夫をしている。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

清掃、エレベーター保全、自動ドア保全、ボイラ保全、消防設備保全、建築基準法定期点検、エアコン法定点検の各業務を集約(委託)したことにより、窓口が一本化され、効率的な運営につながっている。警備、自家用電気工作物保安管理、舞台装置保全、外構緑地管理、駐車場等除排雪の各業務についても第三者委託を行っており、何れも適切な業務の履行を確認している。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 運営協議会 10月30日 (書面開催)	・2020年度の実施事業について ・2020年度の予算執行状況について
第2回 運営協議会 3月18日 (書面開催)	・2020年度の実施事業について ・2020年度の予算執行状況について
(構成) 白石区地域振興課長、同区地域活動担当係長、東白石町内会連合会総務部長、大谷地第一町内会副会長、紙折会(折紙サークル)代表、開放事業利用者、白石東地区センター運営委員会会長、白石東地区センター運営委員会総務部長	

開催回	協議・報告内容
第1回 館長会議 7月10日	(議題) ・各館における感染予防対策について ・避難所開設時の新型コロナウイルス対応について (情報提供) ・白石東地区センターの休館及び仮事務所設置について ・備品購入について
第2回 館長会議 1月28日	(議題) ・各センターの利用状況及び収支状況について ・区民講座、地域住民の交流等を目的とした事業、無料開放事業について (情報提供) ・備品購入(予算)について ・手指消毒液及び施設消毒液の購入費予算について ・新型コロナウイルスワクチン接種会場について ・市民の方からのご意見について
(構成) ・白石区地域振興課職員2名、区民・地区センター館長4名	

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼日々の収入・支出については、収入・支出同等により適宜確認している。また、月末には、総勘定元帳、収支資金残高表により、1ヶ月間の収入・支出の状況及び月末の資金残高を確認している。

▼現金の取り扱いについては、「札幌市白石東地区センター運営委員会現金取扱規定」に基づき、適正に管理している。

▼運営委員会委員による予算執行状況確認も毎月実施している。

▼万が一の事故に備えて、動産総合保険に加入している。

	<p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼要望・苦情については、内容を検証し、速やかな対応に努めるとともに職員間で情報を共有している。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼利用者アンケートを実施し、133名から回答を得た。アンケート結果は3週間ロビー掲示板に掲示した。</p> <p>▼札幌市の業務検査では特に改善すべき指摘・指導はなかった。引き続き適正な事務執行に配慮している。</p> <p>▼その他事業報告等についても、札幌市の指示に沿って遅滞なく処理した。</p>										
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼施設に勤務するパート職員について、北海道の最低賃金861円(2020年10月3日発効)に対応している。</p> <p>▼施設に勤務する職員に対し、時間外労働・休日労働をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。</p> <p>▼施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間を順守した。</p> <p>▼施設で働く職員に、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。</p> <p>▼すべての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。</p> <p>▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届出等を行った。</p> <p>▼常勤職員には、1年に1回の定期健康診断を実施した。</p> <p>▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。</p> <p>▼職員の労働意欲の向上につながるよう、様々な労働環境の改善に努めている。</p> <p>▼職員の健康保持及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、就業時にマスクを着用したほか、消毒剤の常備、換気など感染防止に努めている。</p>	<p>職員の労働に関する法令の順守や、雇用環境の向上に留意している。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>各種法令を順守し、適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。</p> <p>職員の就労意欲向上を目的に勤務実績を考慮した定期昇給を行っており、優れた雇用環境の維持向上に資する取組みとして評価できる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>各種法令を順守し、適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。</p> <p>職員の就労意欲向上を目的に勤務実績を考慮した定期昇給を行っており、優れた雇用環境の維持向上に資する取組みとして評価できる。</p>			
A	B	C	D								
<p>各種法令を順守し、適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。</p> <p>職員の就労意欲向上を目的に勤務実績を考慮した定期昇給を行っており、優れた雇用環境の維持向上に資する取組みとして評価できる。</p>											

<p>(3) 施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 利用者の安全について <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した会議用テーブルを更新した。 ・冬季間の館内床面のスリップ事故防止のため、ロビーへ清掃用モップを配置した。 ・新型コロナウイルス感染防止対策としてアルコール消毒液の設置、貸室利用者入替り時の換気などを実施した。 ・応急手当のため救急箱も設置している。 ▼ 市民サービスの向上について <ul style="list-style-type: none"> ・1階ロビーへご利用案内板を設置した。 ・トイレにコートハンガーを設置した。 ・拾得物を処理台帳により適切に管理している。 ▼ 連絡体制の確保について <ul style="list-style-type: none"> ・職員間の情報共有を図るとともに、緊急時の連絡網も作成し、職員間のみならず関係機関、警備・保守点検事業者とも連絡できる体制を確保している。 ▼ 保険加入について <ul style="list-style-type: none"> ・施設における事故に備えて損害賠償保険へ加入している。 ・行事参加者へは傷害保険に加入している。 <p>▽ 施設・整備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 施設・設備の維持管理業務について <p>そのほとんどを第三者委託により実施したが、何れも適切に業務遂行された。</p> ▼ 修繕について <p>今年度は、開設以来24年を経過したところであり、5ヶ月間(7～11月)の休館期間を経て、照明の全室LED化、暖房ボイラー・パネルヒーターの更新、冷暖房機の更新、実習室ガス機器・流し台の更新、衛生設備の更新、オストメイトの新設などを行った。</p> ▼ 備品管理について <p>実習室冷蔵庫、集会室会議用テーブル(半数)、集会室・ホールの音響機器を更新し、市民サービスの向上を図った。また、集会室カーテン、実習室アコーディオンカーテンも更新した。</p> ▼ 駐車場について <p>駐車場アスファルトの改修工事を行い、白線も引き直すなど、市民の利便性・安全性の向上を図った。</p> ▼ 緑地管理等について <p>構内の低木類の冬囲い及びその撤去はサポーターの協力により、また、敷地内樹木の剪定作業は地区内業者により行った。</p> <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 消防計画に基づく防災訓練を実施した。 ▼ 災害時における避難所の開設・運営に関し、札幌市との連携等、職員間の情報共有を図った。また、札幌市支給の防災用寝袋10個、毛布10枚のほか運営委員会で寝袋10個、毛布20枚を購入し常備している。 	<p>当地区センター内の施設・設備は開設以来24年を経過し、破損、故障が頻発していた。このため7～11月まで休館とし、施設内の改修工事を行ったほか、駐車場の整備、備品の更新なども行い、利用環境の改善を図った。このほかサポーターの皆様にご協力いただき、樹木の冬囲いなどを行っており、利用する方々の地区センター運営への参画の機会としている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> 協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。第三者委託のみならず、サポーターの協力を得ながら維持管理を行っており、今後も継続した取組みを期待している。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。第三者委託のみならず、サポーターの協力を得ながら維持管理を行っており、今後も継続した取組みを期待している。			
A	B	C	D								
協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。第三者委託のみならず、サポーターの協力を得ながら維持管理を行っており、今後も継続した取組みを期待している。											
<p>(4) 事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務の中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 事業計画をしていたパソコン講座(6日間×7講座)、冬・春休みジュニア将棋教室、手打ちそば教室(2回)、暮らしに役立つ情報セミナー(2回)については、すべて新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。 <p>▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務の中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 開催を予定していた白石東フェスティバル(地区センターリニューール記念事業)、グランドゴルフを楽しむ会、テニポンを楽しむ会、ゲートボールを楽しむ会、囲碁を楽しむ会、本の読み聞かせ、ぬいぐるみのおとまり会、ミニコンサート(3回)については、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。 <p>▽ 施設開放事業(無料)に関する業務の中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 卓球、テニポン、バトミントン・テニポン、ゲートボール、ファミリー(卓球・バトミントン)、囲碁・将棋・オセロ、みんな元気体操については、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。 <p>▽ 図書業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 4/14～5/31は新型コロナウイルス感染症対策で休館するとともに、7月～11月は改修工事のため予約の貸出しのみを行った。年間では、約12,700人の来室者があり、約40,100冊の貸出しとなった。 	<p>区民講座、地域交流事業、施設無料開放の各事業については、年間計画に基づく実施を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、すべて中止に追い込まれた。図書業務については、新型コロナウイルス感染拡大による休館時を除き、順調に運営された(改装期間中は貸し出しのみ)。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止になったことはやむを得ない。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止になったことはやむを得ない。			
A	B	C	D								
新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止になったことはやむを得ない。											

(5) 施設利用に関する業務	▽ 利用件数等	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th rowspan="2">H31実績</th> <th colspan="2">R2</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ホール</td> <td>件数(件)</td> <td>796</td> <td>460</td> <td>278</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>21,096</td> <td>12,300</td> <td>4,949</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>72</td> <td>72</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">集会室</td> <td>件数(件)</td> <td>1,191</td> <td>700</td> <td>287</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>10,483</td> <td>6,100</td> <td>2,250</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>56</td> <td>56</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実習室</td> <td>件数(件)</td> <td>550</td> <td>320</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>7,269</td> <td>4,200</td> <td>1,807</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>52</td> <td>52</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">和室</td> <td>件数(件)</td> <td>531</td> <td>310</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>5,169</td> <td>3,000</td> <td>457</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>52</td> <td>52</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">計</td> <td>件数(件)</td> <td>3,068</td> <td>1,790</td> <td>818</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>44,017</td> <td>25,600</td> <td>9,463</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table>			H31実績	R2		計画	実績	ホール	件数(件)	796	460	278	人数(人)	21,096	12,300	4,949	稼働率(%)	72	72	51	集会室	件数(件)	1,191	700	287	人数(人)	10,483	6,100	2,250	稼働率(%)	56	56	30	実習室	件数(件)	550	320	189	人数(人)	7,269	4,200	1,807	稼働率(%)	52	52	41	和室	件数(件)	531	310	64	人数(人)	5,169	3,000	457	稼働率(%)	52	52	14	計	件数(件)	3,068	1,790	818	人数(人)	44,017	25,600	9,463	稼働率(%)	57	57	33	<p>令和2年度は、改修工事による5ヶ月間の休館を見込んでいたところであるが、さらに、新型コロナウイルス感染症拡大による休館、利用自粛、無料開放事業の中止もあり、利用実績は、件数、人数とも大幅減となった。</p> <p>当地区センターを活動拠点にしているサークルでは、高齢化による会員数の減少という共通課題を抱えている。半面、他の施設を利用していただいていた団体が新たに当地区センターを利用するケースもある。</p> <p>引き続き、広報紙「地区センターだより」やホームページによる広報活動を続け利用促進を図っていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">協定書に定められているとおり、適正に実施されている。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">新型コロナウイルスの影響による稼働率の減少はやむを得ない。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">今後も利用促進に向けて積極的な情報発信や広報活動に努めていきたい。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	協定書に定められているとおり、適正に実施されている。				新型コロナウイルスの影響による稼働率の減少はやむを得ない。				今後も利用促進に向けて積極的な情報発信や広報活動に努めていきたい。			
						H31実績	R2																																																																																					
計画			実績																																																																																									
ホール	件数(件)	796	460	278																																																																																								
	人数(人)	21,096	12,300	4,949																																																																																								
	稼働率(%)	72	72	51																																																																																								
集会室	件数(件)	1,191	700	287																																																																																								
	人数(人)	10,483	6,100	2,250																																																																																								
	稼働率(%)	56	56	30																																																																																								
実習室	件数(件)	550	320	189																																																																																								
	人数(人)	7,269	4,200	1,807																																																																																								
	稼働率(%)	52	52	41																																																																																								
和室	件数(件)	531	310	64																																																																																								
	人数(人)	5,169	3,000	457																																																																																								
	稼働率(%)	52	52	14																																																																																								
計	件数(件)	3,068	1,790	818																																																																																								
	人数(人)	44,017	25,600	9,463																																																																																								
	稼働率(%)	57	57	33																																																																																								
A	B	C	D																																																																																									
協定書に定められているとおり、適正に実施されている。																																																																																												
新型コロナウイルスの影響による稼働率の減少はやむを得ない。																																																																																												
今後も利用促進に向けて積極的な情報発信や広報活動に努めていきたい。																																																																																												
(6) 付随業務	▽ 不承認 0件、取消し 0件、減免 0件、還付 0件																																																																																											
	▽ 利用促進の取組	<ul style="list-style-type: none"> ▼館内掲示板の活用 ▼広報紙「地区センターだより」の活用 ▼ホームページの活用 ▼各種行事等開催時における施設利用の声かけ ▼ホームページへの「貸室利用状況」の掲載 などにより、利用促進を図っている。 																																																																																										
(6) 付随業務	▽ 広報業務	<ul style="list-style-type: none"> ▼東白石・白石東町内会連合会の全区域に、事務局で編集・印刷した「地区センターだより」を回覧している。 ▼ホームページの更新・管理を強化し、利用者に新鮮な情報を提供している。なお、白石東地区センターのホームページは、JIS X8341-3:2016に基づき、ウェブアクセシビリティ向上を目指し、JIS X8341-3:2016の適合レベルAAIに配慮することを目標としている。 	<p>広報紙とホームページによる広報活動を展開している。</p> <p>ホームページには毎月約710件のアクセスがあったが、新型コロナウイルス及び改修による休館(6ヶ月半)等もあり、前年度より200件/月程度減少した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。																																																																																			
	A	B	C	D																																																																																								
協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。																																																																																												
2 自主事業その他																																																																																												
	▽ 自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ▼古紙回収事業 回収総量 7,710 kg 奨励金等 29,000 円 ▼発生した自主事業収入については、会議用テーブル更新経費の一部に充当した。 	<p>今年度は、改修工事による休館により回収量が半減した。</p> <p>自主事業の古紙回収事業は札幌市の環境行政に貢献しており、また、この事業収入は当会の貴重な収入であり、今後も継続していく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">古紙回収事業は札幌市の環境行政に資するものであり、利用者への還元もなされていることから、今後も取組みを継続していただきたい。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	古紙回収事業は札幌市の環境行政に資するものであり、利用者への還元もなされていることから、今後も取組みを継続していただきたい。																																																																																			
	A	B	C	D																																																																																								
古紙回収事業は札幌市の環境行政に資するものであり、利用者への還元もなされていることから、今後も取組みを継続していただきたい。																																																																																												
	▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ▼施設の維持管理業務の第三者委託や物品購入は、市内事業者に発注している。また、敷地内樹木の剪定業務は地域内の事業者が発注した。 																																																																																										

▽ 利用者アンケートの結果		A	B	C	D
実施方法	令和3年1月22日～令和3年2月11日 貸室、図書室利用者に協力依頼 回答者133人	アンケートの回収数については、無料開放事業ができなかったことも影響して、昨年度より少ない数に留まった。アンケート結果については、総体的に多くの利用者から高い評価を得ている。改修工事及び備品の更新等により、施設及び備品等の老朽化の課題に一定程度対応できたところであり、今後とも各部門において、利用者のニーズを反映した運営を心がけていく。			
結果概要	<p>・今後も地区センターを利用したいかとの問いに、是非利用したいが69.2%、利用したいが28.6%、どちらかと言えば利用したいが1.5%であった。地区センターを今後利用したくないという回答は0%だった。</p> <p>・職員の態度については、とても良い56.4%、良い34.6%を合わせると91%となり、概ね良好な結果であった。</p> <p>・館内の清掃状況については、とても良い62.1%、良い30.3%を合わせると92.4%となり概ね良好であった。悪いは0%である。</p> <p>・区民講座受講経験のある利用者は19.2%であり、講座受講者の満足度は、すべての受講者が満足度3以上(5段階)であった。</p> <p>・地域交流事業の認知度は、文化祭やミニコンサートが高い。地域交流事業の参加者の満足度は、すべての参加者が満足度3以上(5段階)であった。</p> <p>・参加した講座や地域交流事業を何で知ったかについては、「地区センターだより」「広報さっぽろ」がほとんどである。</p>	概ね高評価を得ており、適正な管理運営が行われていることから要求水準を満たしていると同評価できる。今後も利用者のニーズを的確に把握し、サービスの更なる充実に向けて取り組んでいきたい。			
利用者からの意見・要望とその対応	<p>・貸室が寒い 【対応】改修後、暖房の運転がやや不安定であったが、工事業者等と対応を協議のうえ、調整作業を行った結果、改善され室温が保たれるようになった。また、利用開始前に暖房電源はONとし、利用前に貸室の室温が上がるように配慮している。</p> <p>・無料開放事業の再開 【対応】新型コロナウイルス感染状況収束後に再開を検討する。</p>				
4 収支状況					
▽ 収支 (千円)					
	項目	R2計画	R2決算	差	
収入		34,766	33,624	▲ 1,142	施設運営の基盤となる利用料金収入については、改修工事による休館(7～11月)により減収となったが、新型コロナウイルス感染症拡大に係る貸室利用減分については、市からの補填金が充当されたことから、ほぼ予算通りの収入を確保することができた。自主事業についても、休館による減収を除き順調に推移した。駐車場アスファルト改修工事や備品の入れ替えなどの利用者還元も含め、地区センターの健全な運営ができたと考えている。
	指定管理業務収入	34,716	33,599	▲ 1,117	
	指定管理費	29,380	29,380	0	
	利用料金	3,617	2,613	▲ 1,004	
	その他	1,719	1,606	▲ 113	
	自主事業収入	50	25	▲ 25	
支出		34,716	34,350	▲ 366	
	指定管理業務支出	34,716	34,350	▲ 366	
	自主事業支出	0	0	0	
	収入-支出	50	▲ 726	▲ 776	
	自主事業による利益還元	50	25	▲ 25	
	法人税等	0	2	2	
	純利益	0	▲ 753	▲ 753	
	【参考】	R2決算	内容		
	指定管理業務による利益還元	2,007	下記の通り		
▽ 説明					
<p>▼利用料金収入は、新型コロナウイルスによる休館も含めた利用減により、改修による収入減を見込んだ予算比で、▲1,004千円(▲27.8%)となったが、新型コロナウイルス休館補償金収入もあり、収入予算全体としては、ほぼ予算通りの収入を確保した。</p> <p>▼新型コロナウイルス感染拡大により講座はすべて中止となり、講座収入は得られなかった。</p> <p>▼指定管理業務による利益還元の内容は、駐車場アスファルト舗装改修工事及び会議用テーブルの更新等の備品整備に充当したものである。</p>					

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持 ▼当該年度は、施設・設備改修及び新型コロナウイルス感染症による休館があったが、新型コロナウイルス休館補填金等もあり、財務状況の悪化は免れ、引き続き安定した経営を維持することができた。		適 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼情報公開請求及びオンブズマンへの調査申し立てはなかった。 ▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、反社会的勢力を排除した契約を行った。		適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>令和2年度は、施設・設備の改修工事や会議机などの備品の更新も行い、地域の皆様に、快適に地区センターをご利用いただくハード面の整備ができたと考えている。</p> <p>収入支出面では、施設・設備改修工事に伴う休館による収入減及び新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館等による収入減などもあったが、札幌市からの補填金により、概ね予算通りの収入を確保することができ、財政の健全性は保たれた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、予定していた区民講座、地域交流事業、無料開放事業等はすべて中止となり、この部分では、地域の皆様の期待に応えることができなかったが、感染拡大防止のためには、やむを得なかったところである。</p> <p>サポーター事業では、冬囲い及び撤去などでサポーターの皆様にご協力いただいた。また、自主事業(古紙回収)についても順調に推移した。</p> <p>アンケート結果も概ね良好で、地域の皆様に親しまれる地区センターの役割を果たしていると考えている。</p>	<p>昨年度は、施設・設備の改修工事等を行い、地域の皆様に安心・安全にご利用いただくコミュニティ施設のハード面が整ってきたところである。</p> <p>今後も、地域の皆様と、さまざまな事業を計画・実施するとともに、施設の利用環境整備も進め、コミュニティ施設としての役割を果たしていきたい。</p> <p>また、今年度については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響が懸念されることから、感染症対策を徹底するとともに、実施可能な事業は行っていきたい。</p>

総合評価	改善指導・指示事項
<p>サポーター事業により、利用者や地域住民に施設運営へ参加していただく機会が継続されており、より地域に密着した施設として管理運営がされている。</p> <p>また、利用者に快適に利用いただけるよう、改修工事にあわせて、施設の修繕や備品購入を行い、サービス水準の維持向上を図りながら運営していることは評価できる。</p> <p>今後も利用者のニーズを的確に把握し、地域コミュニティ活動の促進につながる取組の実施に期待している。</p>	